

報道関係各位

2018年9月13日
セイコーエプソン株式会社
エプソン販売株式会社

乾式オフィス製紙機 PaperLab が「第1回エコプロアワード 経済産業大臣賞」を受賞



EcoPro Awards

乾式オフィス製紙機『PaperLab A-8000』

エプソンの乾式オフィス製紙機『PaperLab（ペーパーラボ）A-8000』が、このほど一般社団法人産業環境管理協会主催の「第1回エコプロアワード」（旧エコプロダクツ大賞）において、経済産業大臣賞を受賞しました。

【賞名および受賞対象】

- <賞名> 第1回エコプロアワード 経済産業大臣賞
<受賞対象> 乾式オフィス製紙機 PaperLab A-8000

【受賞理由】

使用済みの一般的なオフィス用紙を用いて、その場で新たなオフィス用紙として生産できる世界初^{※1}の乾式オフィス製紙機で、100%再生紙（R100紙）をその場で生産できる。日常業務で大量に消費するオフィス用紙をその場で再生できる技術はこれまでになく、優れて革新的である。紙を再生するという目的だけでなく、自治体では市民への目に見える環境教育教材、そして市の環境政策のシンボルとしても活用され、企業では環境推進を中心とするCSR、CSV、SDGsへの取り組みのシンボルとして企業ブランド価値の向上の一助にもなっている。使用ユーザーに対して、抜本的な紙使用の減量、廃棄紙の発生抑制が分かりやすく、資源循環の意識向上にも繋がっていることを評価した。また、紙を使用する現場での機密

情報を完全に抹消した上で紙を再生できるため、用紙のリサイクルという環境面だけでなく、機密保持の観点も同時にクリアしていることも高く評価できる。

※1：2016年11月時点、乾式のオフィス製紙機において世界初（エプソン調べ）

エプソンは、印刷コストや消費電力に優れた高画質・高速のビジネスインクジェットプリンターをご提供し、プリントによる価値で、お客様の業務効率向上を支援しています。さらに、お客様が使い終わった紙を「PaperLab」で新たな紙につくり変えて使う循環型オフィスを実現していくことで、紙の未来を変えるスマートサイクル事業の取り組みを進めてまいります。

なお、12月6日（木）～8日（土）に東京ビッグサイト（東京・有明）で開催される「エコプロ2018 -SDGs時代の環境と社会、そして未来へ-」（主催：一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社）において、エプソンブース内に『PaperLab A-8000』を展示、随時デモンストレーションを行う予定です。

参考

■ PaperLabの詳細はこちら：

<http://www.epson.jp/technology/paperlab/>

■ エコプロアワードの詳細はこちら：

http://www.jemai.or.jp/ris/1st_eco-pro_award.html

環境負荷の低減に配慮した優れた製品・サービスを表彰し国内におけるエコプロダクツのさらなる開発・普及を図ることを目的に2004年に設立された「エコプロダクツ大賞」は、時代や社会経済の変化を視野に入れながら今までの理念や実績は継承し、2018年度より新たに「エコプロアワード」として生まれ変わりました。

以上